

2022年3月期 第1四半期
決算説明資料

2021年8月5日

2022年3月期 第1四半期決算の概要 (1)

< 前年同期比での主な差異要因 >

〔売上収益〕

機能製品が前年同期のコロナウイルス感染症の影響から回復し、増収。

〔セグメント別営業利益〕

機能製品、樹脂製品、その他関連が増益。

〔営業利益〕

セグメント別営業利益の増加により、増益。

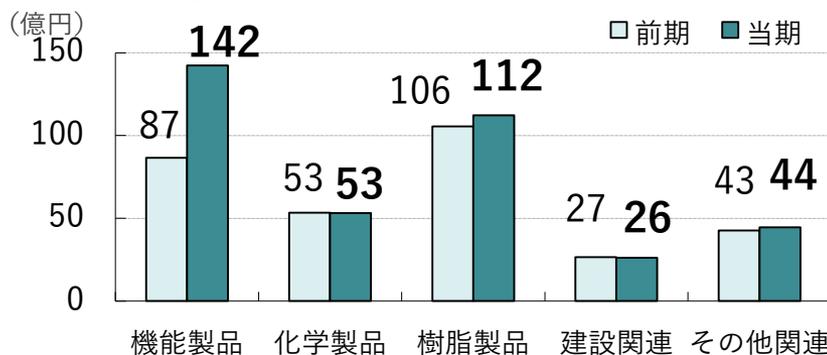
〔親会社四半期利益〕

税引前四半期利益の増加により、増益。

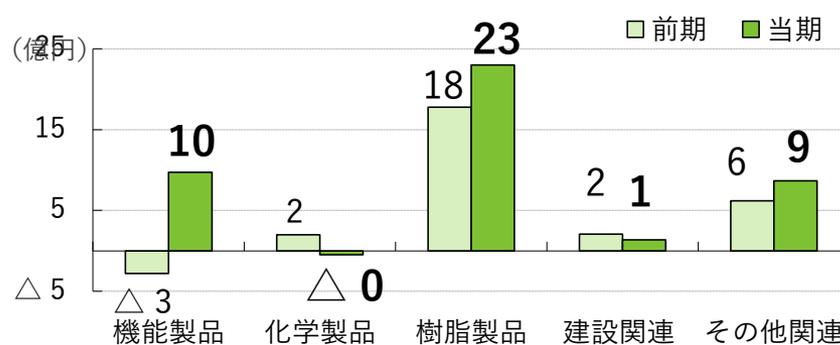
	2021年 3月期 1Q	2022年 3月期 1Q	増減額	率
売上収益	315	378	64	(20.3%)
セグメント別営業利益	25	42	17	(67.6%)
営業利益	25	43	17	(69.4%)
税引前四半期利益	28	44	15	(54.4%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	20	33	13	(61.2%)

< セグメント別前年同期比較 >

【売上収益】



【セグメント別営業利益】



2022年3月期 第1四半期決算の概要 (2)

株式会社クレハ

2021年3月期1Q 実績

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社	(単位：億円)
売上収益	87	53	106	27	43	315	
セグメント別営業利益	-3	2	18	2	6	25	
調整						0	
その他の収益(+)						1	
その他の費用(-)						1	
営業利益						25	
金融収益(+)						4	
金融費用(-)						0	
税引前四半期利益						28	
親会社四半期利益						20	

2022年3月期1Q 実績

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社	(単位：億円)
売上収益	142	53	112	26	44	378	
セグメント別営業利益	10	-0	23	1	9	42	
調整						0	
その他の収益(+)						1	
その他の費用(-)						1	
営業利益						43	
金融収益(+)						2	
金融費用(-)						1	
税引前四半期利益						44	
親会社四半期利益						33	

(単位：億円)

	2021年	2022年	増減	
	3月期	3月期	額	率
	1Q	1Q		
機能樹脂	50	97	47	95%
炭素製品	14	15	1	7%
その他	23	31	8	34%
売上収益	87	142	56	65%
営業利益	-3	10	13	-

<前期比> 増収↑ 増益↑

機能樹脂

車載用途が好調なりチウムイオン電池（LiB）バインダー向けPVDF、新プラントの稼働が開始したPPS、市場が回復しつつあるシェールオイル・ガス掘削用途向けPGA樹脂加工品などの売上が増加し、増収・増益。

炭素製品

高温炉用断熱材向け炭素繊維の売上が増加し増収、利益は前年同期並み。

(単位：億円)

	2021年 3月期 1Q	2022年 3月期 1Q	増減	
			額	率
農薬	14	7	-7	-52%
医薬品	11	12	1	11%
工業薬品	14	17	3	20%
その他	14	17	3	22%
売上収益	53	53	-0	-0%
営業利益	2	-0	-2	-

<前期比> 減収↓ 減益↓

医薬・農薬

慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上が増加するも、農業・園芸用殺菌剤の売上が減少し、合わせて減収・減益。

工業薬品

有機薬品の売上が増加し増収、営業損失は減少。

(単位：億円)

	2021年	2022年	増減 額 率	
	3月期	3月期		
	1Q	1Q		
家庭用品	54	59	5	8%
釣糸	10	13	4	38%
業務用包材	29	30	1	5%
その他	13	10	-3	-23%
売上収益	106	112	7	6%
営業利益	18	23	5	29%

<前期比> 増収↑ 増益↑

家庭用品・釣糸

家庭用ラップ「NEWクレラップ」、釣糸「シーガー」の売上が増加し、増収・増益。

業務用包材

熱収縮多層フィルム等の売上は増加したものの、原材料価格の高騰があり、増収・減益。

(単位：億円)

	2021年 3月期 1Q	2022年 3月期 1Q	増減	
			額	率
【建設関連】				
建設関連事業	43	45	2	4%
連結売上消去	-17	-19	-2	-
売上収益	27	26	-0	-2%
営業利益	2	1	-1	-34%

【その他関連】

環境事業	29	32	3	11%
運送事業	19	20	1	8%
病院事業	9	10	1	11%
その他	6	6	0	0%
連結売上消去	-21	-24	-4	-
売上収益	43	44	2	4%
営業利益	6	9	2	39%

【建設関連】

<前期比> 減収↓ 減益↓

民間工事は前年同期並みとなるも、公共工事の着工遅れにより、減収・減益。

【その他関連】

<前期比> 増収↑ 増益↑

環境事業は、低濃度PCB等の産業廃棄物処理の増加により、増収・増益。

運送事業は売上・利益ともに前年同期並み。

病院事業は売上が増加し、営業損失は減少。

財政状態計算書

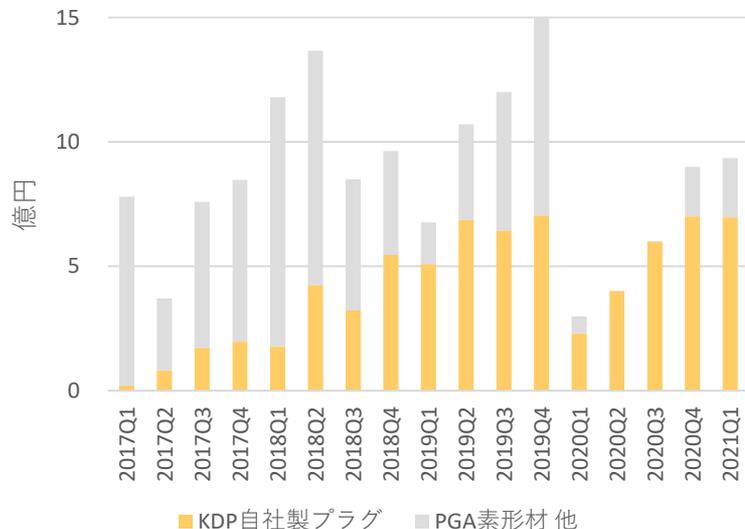
株式会社クレハ

	2021年 3月末	2021年 6月末	増減
現金・現金同等物	178	168	-11
営業・その他債権	282	281	-1
棚卸資産	365	347	-18
その他流動資産	37	35	-2
流動資産計	862	830	-32
有形固定資産	1,202	1,197	-4
無形固定資産	22	29	7
投資等	483	489	6
非流動資産計	1,707	1,716	9
資産合計	2,569	2,546	-23

	2021年 3月末	2021年 6月末	増減
営業・その他債務	192	193	1
有利子負債	295	284	-11
引当金	78	61	-17
その他負債	149	136	-13
負債計	714	674	-40
資本金	182	182	-
資本剰余金	149	149	-
自己株式	-87	-87	-0
利益剰余金	1,542	1,562	21
その他の資本	53	49	-3
非支配株主持分	17	17	-0
資本計	1,855	1,872	17
負債・資本合計	2,569	2,546	-23

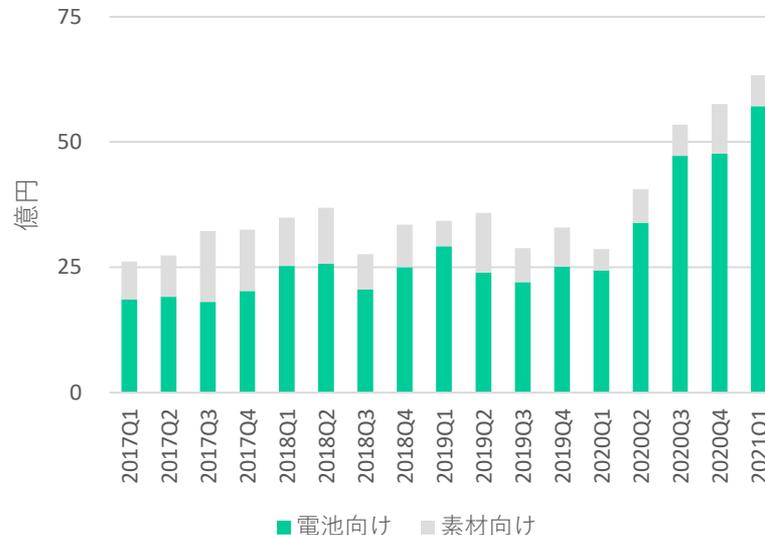
KUREHA

<PGA売上収益の推移>



- 経済活動の回復と油価の上昇により、市場環境は緩やかに改善。
- 昨年秋からの柔軟な価格対応により、自社製フラックプラグは大口顧客でのフルボア採用（油井全体での一括採用）が進む。
- 高・中温鉱区で価格戦略とデザイン改良により、フルボア採用とシェア拡大をさらに進め、超低温鉱区向けの改良型PGAプラグの開発・販売に注力し、2023年度の黒字化を目指す。

<PVDF売上収益の推移>



- 昨年度下期から、環境規制対応と補助金政策を背景に車載用LiBの需要拡大が続き、売上は伸長。原材料価格高騰に対し、価格転嫁を進めている。
- いわき事業所の増強工事により、2022年2月より車載用LiB向けバインダーを増産予定。
- 中国常熟市に新たにPVDF工場（能力、約1万トン／年）を建設する計画を、2021年7月20日公表。

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。